

注目!

企業の社会貢献活動

企業の社会貢献活動……企業の利益追求だけでなく、地域社会や環境といった社会全体の課題解決に自発的に取り組む活動で、寄付、環境保全、災害支援、従業員ボランティア、NPO連携など多岐にわたり、企業価値向上やブランドイメージ向上にも繋がります。また、SDGs達成への貢献としても重要視されています。白石区内の活動について、本会と関わりのある取り組みを一部で紹介いたします。

子ども食堂運営団体等へ毎月寄付

札幌オーナーズ株式会社 | 白石区東札幌2条5丁目



賃貸物件の管理を主事業とする札幌オーナーズ。社会貢献活動として、生活困窮問題などに向き合い白石区内7カ所、区外2カ所の子ども食堂運営団体へ毎月10万円を寄付。2016年から、社会福祉協議会を通じて寄付を行っており、また2020年には、「子ども食堂北海道ネットワーク」に500万円を寄付するなど、その想いは熱い。森 賢一代表取締役会長は、このような社会貢献活動を行う意義として、「今起きている社会課題を世の中に発信していきたい」「苦しい時に支援することが大切」と話す。また、社会福祉法人羊ヶ丘養護園にも2020年より毎月6万円の寄付を行っている。



寄付活動以外でも、2023年には北海道の豊富町にアトピーの方が湯治・宿泊できる温泉施設「アズマシーナ」を建設。社員旅行の際、アトピーでお風呂に入ることをためらう職員がいたことがきっかけとなり、豊富町とも連携して、建設に至った。2026年は豊富温泉開湯100周年にあたり、町おこしにも協力している。こういった社会貢献活動を継続して行うことに、並々ならぬ想いを感じます。

赤い羽根共同募金支援と福祉除雪協力

株式会社 遊鶴 | 豊平区美園2条6丁目



市内に10店舗を構える、ごまそばでお馴染みの遊鶴では、今年度、赤い羽根共同募金百貨店プロジェクト「特定のメニューのおそばを食べると1食につき10円寄付」に参画する他、福祉除雪の協力企業として、東札幌地区の利用者を対象に社会貢献活動を実施いたしました。株式会社 遊鶴 橋本 毅会長は、長年、地域の民生委員・児童委員、東札幌地区民児協の副会長としても活動しており、本会と連携・協力し、標記の社会貢献活動につながりました。

橋本会長は「企業では、SDGsを踏まえて多様な貢献活動している。一方で、何をどのようにすると良いのかわからない企業もあると思う。社協は、そういった企業と連携を図り、地域への貢献活動を応援していくのが良いかもね」と話し、さらなる意欲を見せている。